

第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のような仕組みを構築し、環境保全活動に取り組んでいます。

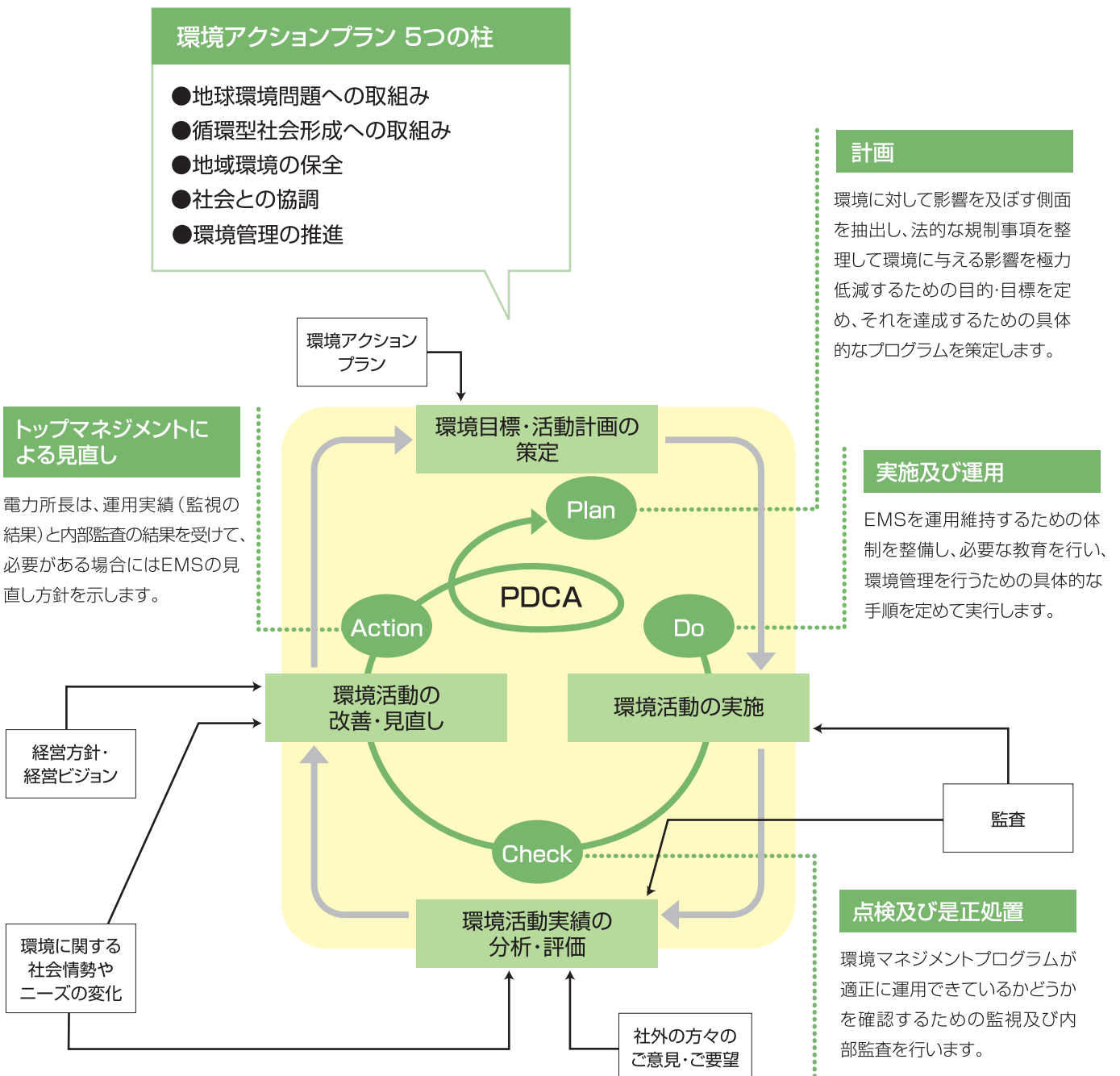
1. 環境マネジメントシステム

(1) EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷低減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

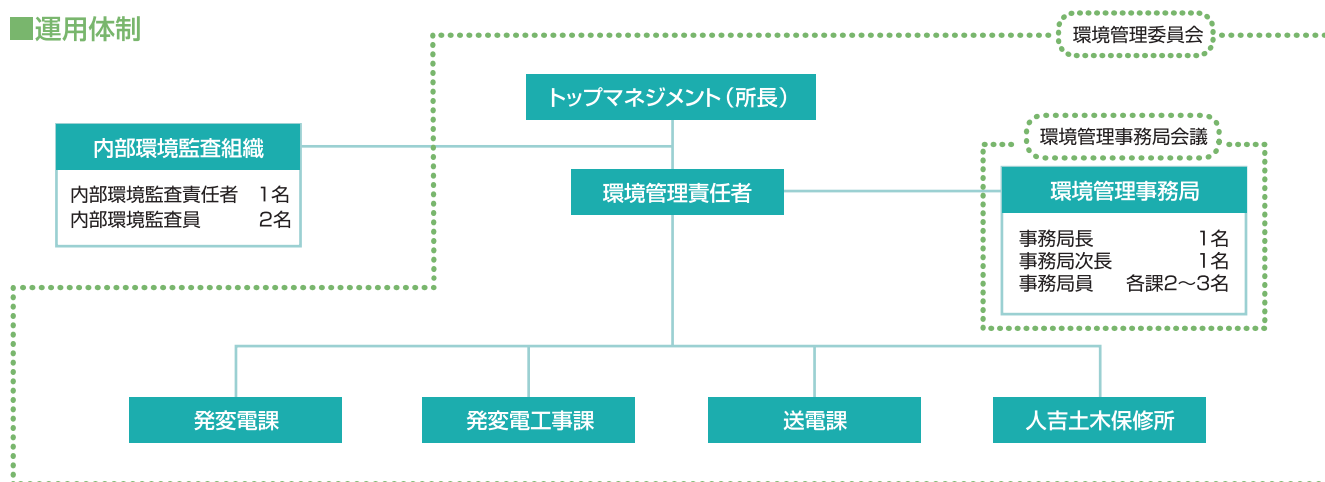
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(2) 運用体制

人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

■ 運用体制



(3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

(4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	16
特別管理産業廃棄物管理責任者	3
危険物取扱責任者	27
内部環境監査員	8

2011年4月1日現在

(5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に運用され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年毎に更新審査を継続受審しています。

外部審査機関による受審状況

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
認証取得	○										
更新審査				○			○			○	
定期審査		○	○		○	○		○	○		○

2. 環境目的・目標の計画と実績

(1) 2010年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題として、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

2010年度EMS目標の取組結果

項目	計 画		結果	備考
	目標値	実施方法		
供給支障につながる懸案の確実な解消	今年度計画の懸案解消 (183件)	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な解消 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の確実な推進 (石綿削減、油レス化推進等) 	213.1% (390件)	目標達成
設備の巡視・点検の確実な実施による予防保全	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度計画の設備巡視・点検の実施 ・突発事故発生時の確実な巡視・点検の実施 (956件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視点検計画の確実な実施 ・巡視点検で発見した不具合の的確な管理 ・巡視点検スキルアップ教育の実施 ・他所での事故事例による同様機器の調査点検の実施 ・設備の定期点検の確実な実施 	104.1% (995件)	目標達成
運用設備あるいは工事施工における騒音値の管理及び影響防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全発電所における騒音測定 (12回/年) ・工事施工時の騒音対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実な騒音測定に向けた作業計画作成 ・騒音測定の確実な実施 ・測定結果に対する評価及び必要に応じ対策の検討 ・工事施工時の低騒音機器・騒音低減シートの確実な使用 	騒音測定100% (12回) 騒音対策都度実施 (苦情等なし)	目標達成
地球環境問題への確実な取組みの実施	電力所建屋への太陽光発電設備の設置 (9月運開)	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備設置の工程管理 ・設置後の運用状態の管理 ・低炭素社会づくりに向けた取組みに関する知識の理解・修得 	計画どおり運開 (継続管理中)	目標達成
環境維持や電力の安定供給に資するための資格取得	1件/人の各種資格取得の実施 (各種講習・通信教育の受講) (58件)	<ul style="list-style-type: none"> ・資格試験の実施予定等の情報提供 ・システム登録対象以外についても取得状況の把握を行う 	103.4% (60件)	目標達成

なお、活動が定着したものについては、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

(2) 2011年度の計画

2011年度の計画は以下のとおりとしました。

2011年度EMS目標

計 画			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内受電 電力量の削減	H22年度の実績から 3%削減 (536,080kWh)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施 ・省エネ標識類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大 ・空調効率UP対策の実施 ・夜間照明(水銀灯)の点灯時間見直し 	新規 (従来活動を見直し)
コピー用紙の購入量の 削減	H22年度の実績から 1%削減 (1,352kg)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化 ・紙での出力が必要なものは裏面の利用 ・複数枚の印刷は両面コピーの利用 	新規 (従来活動を見直し)
供給支障につながる 懸案の確実な解消	計画懸案の100%解消 (145件)	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な解消 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新規設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の着実な推進 	継続
設備の巡視・点検の 的確な実施による 予防保全	年度計画に基づく 設備巡視・点検の 100%実施 (761件)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視点検計画の確実な実施 ・巡視点検で発見した不具合の的確な管理 ・巡視点検スキルアップ教育の実施 ・他所での事故事例における同様機器の調査点検の実施 	継続
環境維持や電力の 安定供給に関する 資格取得等へのチャレンジ	一人1件の 資格取得等へのチャレンジ (58件)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験等への積極的なチャレンジ ・社内の選択型研修の受講 ・各種の通信教育の積極的な受講 	継続